

学生目線で事業考案 岐聖大生が企業に提案



呉服を活用した事業案を説明する学生＝岐阜市中鶯、岐阜聖徳学園大岐阜キャンパス

就職活動に向けてプレゼンテーション能力を高めようと、岐阜聖徳学園大岐阜キャンパス(岐阜市中鶯)で、同大経済情報学部3年の学生が自治体や企業の新事業を提案した。同大が県中小企業家同友会、県信用保証協会と岐阜信用金庫の協力を受けて実施。学生はウメイチ(瑞穂市)、みの食製菓(加茂郡八百津町)、可児市役所の新規事業を考案し、学生ならではの自由な発想を披露した。

貸衣装と記念撮影の専門店「衣舞」を運営するウメイチに関して

は、学生4〜5人でつくる8グループが事業を提案。「街コンを開催し記念日の利用につなげる」、「祭り会場に貸衣装の仮店舗を出店する」といった斬新な案を相次いで発表し、同社グループ本部の梅田益生本部長(32)が講評した。

呉服をコスプレや人形用の衣服に生かそうと提案した杉浦聡さん(21)＝愛知県津島市＝は「自分の案が評価されてうれしかった。機会があれば、さらに興味を引けるようなプレゼンがしたい」と語った。(稲木悠司)